



## 平成30年度～令和元年度実施 市内生物生息調査結果概要

対象分類	確認種	希少種 ※①②	外来種 ※③④	考察	備考
植物	496種	27種	27種	マヤラン・タコノアシ等の環境省もしくは東京都のレッドデータブック掲載の希少種が確認された。特に雑木林の林床に生育する種や限られた水辺に生育する希少種は注目される。一方、特定外来生物のオオキンケイギクの他生態系被害防止外来種が多数確認された。これら指定種以外にも多数の外来種や品種改良による栽培種が確認されており都市部における在来種の保全再生を考えるうえで課題である。	  
哺乳類	6種	0種	3種	都市における生物群集の安定性を保つ意味からも重要な役割を持つ在来種のアズマモグラ、アブラコウモリなどが確認された。生態系被害防止外来種のアライグマやクマネズミはそれぞれホンダヌキや生息が予想されるアカネズミ等と競合する。特定外来生物のアライグマと共に人間生活にも有害であるため注視する必要がある。	  
鳥類	32種	10種	1種	環境省レッドリスト掲載種のアオタカが確認された。その他にも都市における生態系の高次消費者であるツミの生息確認は注目される。特定外来生物は確認されなかったが侵略的外来生物であるワカケホンセイインコやドバトは在来種との競合が懸念されるとともに、人間生活にも有害であるため注視する必要がある。	  
爬虫類	3種	3種	0種	確認されたヒガシニホトカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウはいずれも東京都レッドリストの掲載種で注目される。アカミミガメの生息可能性について注視していく必要がある	  
両生類	4種	3種	0種	環境省レッドリスト掲載種のアマガエル、東京都レッドリスト掲載種のアマガエルが確認された。西日本由来の地域移入種であるヌマガエルの分布拡大について注視していく必要がある	
昆虫類 クモ類	226種 7種	4種 1種	1種 0種	東京都レッドリスト掲載種のアオバハゴロモやムツトゲイセキグモが確認された。特定外来生物及び生態系被害防止外来種に指定されるアカボシゴマダラは在来種との競合が懸念される。害虫として知られるアオバハゴロモは大量発生による果樹被害が懸念されるため注視する必要がある。	  
魚類 甲殻類	11種 2種	3種 0種	0種 1種	環境省レッドリスト掲載種のアサギナギサや東京都レッドリストに掲載されるニゴイが確認された。生態系被害防止外来種に指定されるアメリカザリガニはすべての水辺環境で確認された。観賞用に品種改良されたヒメダカやキンギョは在来種との競合が懸念される。	   

希少種または外来種の基準としている文献

- ① 環境省レッドリスト 2018：(環境省 平成30年5月公表)
- ② 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 2010年版：(東京都 平成22年3月公表)
- ③ 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づき規制される生物のリスト：(環境省 平成30年4月公表)
- ④ 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)：(環境省 平成28年3月公表)